

# 行政区・ここが知りたい!

67の行政区。板市にある67の行政区。このコナナ一では、かの版記者がこ注した各行政区独自のりとくみを紹介しします。

## 館ノ川行政区

■川崎城跡や、城主であった塩谷氏の菩提寺(長興寺)がある、館の川行政区で「芋煮会」が開催されるというので訪ねました。この芋煮会は青年部(城山会)が中心となっ

て行っています。●青年部(城山会)が元氣な行政区

城山会(現在のメンバーは15人)では、20年以上続けて毎年11月に地域交流の場として、長興寺の前の公園駐車場で「芋煮会」を実施しています。芋煮会当日は、朝早くから準備に追われ「けんちゃんそば、やきとり、やきそば、みそおでん」など



楽しい芋煮会

がら、鍋

のほか、会員が釣ったニジマスなどが串焼きにして用意され、開始時間の11時前から、老若男女が食券を求めて並び、早くも食べ始めている子どももいました。

●城山会の活動が地域交流の原点

城山会は、毎年芋煮会のほかに、子どもみこしの手伝いや川崎城跡の山藤棚の整備なども行っています。「かつては川崎城跡にある星宮神社で12月31日にそば打ちし、初日の出を迎えたことがあった」と、城山会の元会長さんは懐かしそうに話



川崎城跡内・星宮神社

てくれました。現在の松本会長さんは、「小学生は現在6人しかいない。年々少なくなってきたのが心配」と悩みも。

また会員

や釜など必要なものは会員みんなで持ち寄り、なかでも庄巻は、大きな焼き鳥器でした。土台から焼き網まですべて手作りで、城山会の地域に対する熱い思いと団結の強さがうかがえました。

●芋煮会は毎年楽しいひと時

西那須野から来たボート生は館ノ川に団長が住んでいる関係で「2年前から来ています。小遣いでおいしく食べられるので楽しい」。また、子どもの付

き添いで来た大田原の郡司さんは「今年初めて参加したけれど、長興寺で座禅を体験し、芋煮会もあってとてもよかった」と笑顔で語ってくれました。

りのお年寄りの皆さんも喜んでおり、「この芋煮会は、年寄りから子どもまで毎年楽しみにしている。城山会をはじめ、行政区、公民館が一体となって、運営しているのが何より良い活動になっていく」と誇らしく語ってくれたのが印象的でした。(H)

## 沢行政区

■箒川を隔てて大田原市に隣接している沢行政区。長年、児童自立支援施設・那須学園との合同運動会を行っているということで小口区長にお話をうかがいました。

■那須学園は今年創立百年明治30年のころ、現在の那須学園の地に創設された栃木県農学校。元県知事の小平重吉氏もその卒業生の一人。約七年という短い間でしたが、全国から学生が集まり近くの民家に下宿して学んだといひます。その後、交通の便が悪いということで農学校は宇都宮に移転、宇都宮農業高校、そして現宇都宮白楊高校へと変遷していきます。その跡地にできたのが現在の那須学園です。

■今年で32回目の合同運動会

もともと田植えのさなぶりを兼ねて、カヲオケや芋煮会、もちつきなどを行っていましたが、もっと意義のある事をやろうと、那須学園のグラウンドを借りて一緒に運動会をやる事に。

一大イベントとして定着、地域のほとんどの人が参加

し楽しんでいきます。学園の子どもたちにも好評で、楽しんでくれています。そのうち運動会だけでなく、育成会の野球、ソフトボールで学園の子どもたちと交流したり、学園にあった子どもみこしを天王祭の時に借りたり、運動場を盆踊りの会場に借りたりと、児童自立支援施設がこんなふう

に地域と一緒に仲良く30年も交流している事例は全国でも少ないのではないのでしょうか。

■老人会が元氣です!

沢のもう一つの名物が元氣な老人会。独居老人などで一人ではなかなかできない事を手助けし、と始まったボランティア活動には常に十四、五人が参加。もがりや植木の手入れ・草むしりなどに励みます。ほかに毎月一回の公民館掃除など、メンバーが多いとあつという間に終わる事もあります。が、話をするだけでも元氣になるとのこと。

ボランティアだけでなく温泉や旅行など遊びも忙しく、敬老会ではカヲオケが止まらないそうですが、「老人が元氣ということ」地域が元氣だということ、小口区長は胸を張りま



秀峰・高原山と那須学園

■沢を見守る四つの神社

北の八幡神社、西の賀茂神社、南の権現神社、そして東の湯泉神社。沢ではこの四つの神社のお祭りを含め、年間を通して七回のお祭りがありますが、四方を神社に囲まれた地域は珍しく、貴重な地域の宝物かもしれませぬ。初詣に四つの神社巡りなんて御利益が



八幡山の忠魂碑